



子どもタイムズ

2007.9.1
平成19年 6号

発行:多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-2385
E-mail kyoiku@takacho.jp



おもな内容

- ・夏休み子どもアドベンチャースクール
- ・町内学校トピックス
- ①いま学校では ②クラスの目記 ③子どもと健康
- ④校長先生教頭先生から見た子ども
- ・町内の県立学校（北はりま特別支援学校）
- ・教育委員会からのお知らせ

夏休み子ども

アドベンチャースクール

「あつゝい夏」がやってきました。多可町の公民館では、夏季休業中青少年体験活動の一環として、今年から多可町内の小学生全員を対象とした「夏休み子どもアドベンチャースクール」を実施しました。参加児童は、普段の生活ではなかなかできない貴重な体験をたっぷりして、夏休み中の楽しい思い出をいっぱい残せました。また、違う区の小学生同士との交流もでき、友達の輪を広げる良い機会となりました。

「刀づくり見学といろんな石の魅力」



中区の松内ミネラルコレクションと真鍮純平鍛刀場の見学に行きました。石の種類が多さや美しさ、刀づくりの複雑さや職人さんの技にびっくり!



「いしのはくふつかんにいて、すくきれいな石がみれてよかったです。アンモナイトがありました。ほうせきがほしかったです。」
「いろんな刀があるのは、しりませんでした。刀は何人もよく人さんがつくられているんだな!」

「レアチーズケーキづくりに挑戦」



八千代公民館で冷たいレアチーズケーキづくりをしました。5人くらいの班で協力してがんばっていました。中にはずいぶん手慣れた手つきの子も!



「レアチーズのチーズをまぜるときに、ねばねばして、どろどろんにまぜたのがおもしろかった。」
「はじめはせいこうするかとてもふあんでした。でもかんせいしたらとてもじょうずにできて、とてもうれしかったです。」

「かみTV1日体験」



かみTV局から町内3ヶ所に取材に行きました。インタビュも自分たちで考えました。本物のカメラは結構重かったね。



「きかいかアイスがみれてすくおもしろかったです。それでインタビュをしてうれしかった。」
「知らないことをおしえてもらったのでよかったです。また行きたいです。」

「馬で散歩を楽しもう」

八千代区のスタールサクリヤに行きました。到着するとたくさんの馬たちがお出迎え。最初はちょっと怖くてビクビクしていましたが……

「うまにのっているとき、りょうてをはなしてのったよ。こわくなかったよ。」
「馬のしゃんぷーをしているところ、がきもちよさそうでした。馬の温かさが伝わるかんじでした。」



「ゴルフって何だ」

滝野CC八千代コースの見学と、妙見富士CCでバターゴルフを体験しました。はじめて経験した子も多く、ゴルフが身近に感じられた一日でした。

「一回だけだったけどボールインワンをとれたから良かった。さらに、新記録を出してみたいと思います。」
「本物のゴルフをしている所、やせつの中をみてすごいなとおもった。いろいろなことをおしえてもらってよかったです。」



「化石は発掘できるかな」

岡山県のなぎピカリアミューシアムに行きました。暑い中でしたが、貝などの化石がいっぱいとれたね。

「たくさん貝の化石がはつくとできてよかった。」
「日本は何万年前はバラバラでいろんな生き物がいたから、もつとちがった生き物もいたんだろうなと思った。」



中町幼稚園

げんきいっぱい けやきいっぱい

家庭や地域社会とともに幼児を育てていく取り組みの一環として、中町幼稚園では祖父母との交流、地域の方々との交流、親子の交流など、年間を通してさまざまな交流活動を展開しています。

おじいちゃん おばあちゃんたちと



クラス毎に、一学期に取り組んだ歌やダンス、運動遊びなども発表しました。

作って遊ぶ「笹飾り」と題し、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、七夕に向けて笹飾りを作りました。七夕まつり会には祖父母の方々をはじめたくさんの方が来てくださいました。

おとうさん、おかあさん
きょうだいたちと一緒に

夏休み初日、お家の方々と一緒に「スタンブラー」を楽しみました。

多可町音頭の作詞・作曲を手がけられた方や、振り付けを指導されている方にお世話になり、多可町音頭を教えていただきました。

地域の方を迎えて



一学期

あんなこと…
こんなこと…

したよ



今年度より、地域の茶道協会の方に来ていただき、月に一回「和みの日」（お茶教室）を実施しています。

おまんじゅうを食べて、にっこりお茶を飲んで、渋い顔

長い時間座って、足がビリビリ

それでも子どもたちは「次はいつ？」と毎回楽しみにしています。お家の方からは、

「覚えてきたことを嬉しそうに話してくれました。」

「家でもお茶をたてて、子どもと飲みました。」

「正座をしたり、作法を学べたりしてよかったです。」と

いう声をいただきました。



「いただきます」「ごちそうさま」の感謝の気持ちを込めた礼。「お先に」と周りの人のことを気にかける言葉。「和みの日」を通して日本の伝統に

触れ、礼儀や作法を身につけると同時に、

相手を思いやる気持ちが持てる優しい子どもたちに成長して

くれることを願っています。



歯の衛生週間に合わせて、小学校の養護の先生に来ていただき、「はみがき教室」を行いました。

まずは、エフロシスターで正しい虫歯になるのかを学び、歯ブラシの正しい持ち方・動かし方を歯の模型を使って教えて頂きました。

そして最後に、カラーデスターで赤くなった自分の歯を磨きました。真っ赤になった自分の歯を見て、「このままじゃ虫歯になる！」と鏡をのぞき込み、真剣に磨いていました。

歯は、一生使い続けていく重要なもの。乳歯はいずれ永久歯に生えかわりますが、乳歯の時から虫歯があると、そこから歯肉炎を起こし、いい歯が生えるための土台である歯ぐきがやられてしまいます。これから虫歯に対する正しい知識と歯を大切にすることを育てていきたいと思っています。



松井幼稚園



田植え

田植えの仕方を教わりました。

五月二十一日、小学生と一緒にさつま芋の苗植えをしました。四年生の子が先生になって、園児一人一人にわかりやすく丁寧に教えてくれました。また、五月二十四日には、一緒に田植えをしました。田植えは四年生の子以外に地域のボランティアの方々にもお世話になりました。大勢の方に優しく教えていただいたので、子ども達は楽しみながら上手に植えることができました。



芋苗植え

芋苗植えの仕方を教わりました。



七夕製作

1,2年生の子と笹飾りを一緒に作り、七夕集会に参加しました。



七夕集会

七月は七夕を通じて交流を行いました。最初は、1・2年生の子に幼稚園にきてもらって笹飾りを一緒に作り、次に、作った笹飾りを小学校へ持って行き、体育館に用意された大きな笹につけました。小学校の七夕集会にも参加し、小学生と一緒に話を聞いたりゲームをしたりして楽しみました。杉原谷幼稚園と小学校は、場所が隣にあるだけでなく、行事や体験などを一緒にすることが多く、身近な存在です。

児童集会

毎月第2月曜日の朝は、児童会役員が考え出したいろいろな競技を、縦割り班で楽しみます。縦割り班は、学年を通して10の班をつくり、5班ずつ紅白に分かれています。競技の結果は運動会の紅白対抗の得点に加算されます。



あいさつ運動

5月に児童会役員と学級委員が中心となり、登校時間に挨拶運動をし、大きな成果をあげました。児童会役員の自覚・自信にもつながりました。

1年生歓迎会

6年生が1年生をおんぶして入場するなど、児童会がいろいろな楽しい出し物を考え、新入生を囲んで楽しく過ごしました。3学期には、卒業式の前に6年生を囲む会を開きます。



がんばってます

松井つ子

松井小学校児童会

松井小学校

音楽集会

毎月、第4月曜日に全校児童で合唱します。4、5月の歌は「ゆかいに歩けば」、6月は「野に咲く花のように」、終業式の前に歌った7月の歌は「おおブレネリ」でした。



ともだち集会

6月と11月に行います。6月は目の不自由な方のお話を聞きました。一生懸命に生きることの素晴らしさを感じ取っていました。11月には「友だちのことをもっともっと知ろう!」をテーマに集います。

児童会活動の三本柱

・元気にあいさつをしよう。
・進んでそうじや後片付けをしよう。
・健康や安全に気をつけ、元気で明るい学校生活を送れるようにしよう。

集会活動のねらい

・集会活動を通して、学校生活を楽しく豊かなものにしよう。
・集団生活の中で互いに認め合い、協力することの大切さを知る。
・高学年のリーダーとしての意識を高め、主体的に活動する子を育てる。

八千代北小学校

6年生親子ふれあいキャンプ



火おこし、バーベキュー、キャンプファイヤー、肝試しと、内容豊富なキャンプでした。班で準備したスタンツも、楽しくスムーズに進めることが出来ました。



=環境体験学習=

どんな生き物がいるのかな



環境体験事業の一環として、学校に隣接している「ふれあいの森」や、近くを流れる野間川の生き物調べをしました。調べた水生生物の種類から、野間川がとってもきれいな川だということがわかりました。

伝統の鼓笛練習



九月二十三日の運動会を目指して、鼓笛の練習にも力が入ってきました。今年もゲストティーチャーの正井明孝先生にも協力していただいで、パート別の練習から始めています。特にトランペットは、音が出るまでが大変ですが、地域の人々の期待も後押しとなって、本番には、全員が出来るようになっていきます。

八千代南小学校

八千代南小学校

校長先生とのほのぼのタイム



「先生、校長先生にふんぶんごまをもらったよ。まわしかたも教えてもらった。ふんぶんごまの音がしたよ。校長先生、ありがとう。」



うちの校長先生は、「こままわし」の名人。手のひらに載せたり、綱渡りをしたり。校長室にも、今の子どもたちには珍しい楽しい遊び道具もあって、子どもたちには、お気に入りの場所なんですよ。この間、校長先生から、一年生二年生に「ふんぶんごま」をプレゼントしてもらいました。一つ一つ、心をこめた校長先生手作りのふんぶんごまです。なかなか回せない子も校長先生に片方を借りてもらって、リズムを掴んで回せるようになりました。危険な情報が増加、ゲーム機の普及で子どもたちの遊びは偏

ってしまっています。昔ながらの手作りのおもちゃで一緒に遊ぶ。こういう中で今の子どもたちが忘れかけている人とのふれ合いや温かさを学ぶのではないのでしょうか。

今日いただいたふんぶんごまを嬉しそうに持って帰ってきました。「ふんぶんごま」と音を立てて、高速に回転するのを左右の手で調整しながら遊ぶのは、大人でもなかなか楽しいですね。うちの子にとって、校長先生は身近な存在に見えてくるように、「校長先生、絶好調!」もう一つ、「校長先生、絶好調!」って、言ってみようです。(保護者)

基礎学力定着の「パワーアップタイム」

「パワーアップ」を相い言葉に、基礎学力定着の「パワーアップタイム」と「パワーアップファイル」がありま

す。パワーアップタイムとして、低学年は月曜日の5時間目、高学年は木曜日の6時間目。基礎となる力をつけるためにプリントや練習問題をしています。その足跡として、プリント等をパワーアップファイルに綴っています。そのファイルも1学期間で分厚くなってきました。「こんなに分厚くなった」厚さは、子ども達の自信の証です!



中町中学校

一学期アラカルト

この一学期、各学年様々な行事が行われ、その中で、生徒たちはそれぞれに成長しました。



＜一年生＞

自然学校（ユニトピア森山）では、班活動を通して、仲間づくりや集団のルールを学びました。また、わくわくオーケストラでは、迫力ある本物の音色を直に感じる事ができました。

＜二年生＞

六月四日から八日にかけて、町内の事業所にお世話になり、トライやる活動を行いました。この活動を通して、仕事の厳しさは勿論のこと、自分の将来や地域・家族への感謝の思いを新たにしました。



＜三年生＞

六月五日から七日にかけ、東京方面に修学旅行に出かけました。班別の自主研修では、事前計画や自主的な活動の大切さを学びました。また、最高の思い出をつくる事ができました。

＜修学旅行のアンケートより＞

- 印象に残ったところ
- 一位 デイズニールランド
- 二位 東京タワー
- 三位 竹下通り



部活動社行会では多数の保護者の前で決意表明をし、それぞれの思いを胸にこの夏、各大会に出場しました。

○主な成績○

☆ソフトボール部

全日本女子ソフトボール大会出場

☆吹奏楽部

県大会出場銅賞受賞

尼崎市教育委員会奨励賞受賞



20年以上続く生徒会行事について

楽久園訪問 8月3日(金) 実施

クリーンキャンペーン 8月7日(火) 実施

究極の不易を目指して!! まさしく継続は力なり!!



八千代中学校の生徒会は活動内容が充実しており、体育祭や文化祭、新入生歓迎遠足、全校合唱とあらゆる行事に大きな役割を果たしている。その中でも夏期休業中に行われているこの二つの行事は、もう二十年以上続いておりまさしく年中行事と言っても過言ではない。楽久園訪問は、あくまでもボランティアとしての自主的な参加を原則として、年二回実施しているが、最近は全員に近い出席となっている。また、クリーンキャンペーンは、地区別に公民館等に集合して、1時間程度ゴミ、空き缶の回収をしている。これらの行事の定着度は年々増しており、長年月の間に培われてきた伝統の持つ力を実感させられる。世の中が騒ごうが騒がまいが閑々と続けられてきた、人間の持つ温かい心の発露の場がある。



訪問当日は九時に集合し、ゆりの荘の大広間で説明を聞き、それぞれの仕事の場所へと移動した。

車椅子を磨く生徒たち





そらぐみ・ほしぐみ・つきぐみ

サッカーに対する子ども達の気持ちも盛り上がり、その後も引き続きサッカー遊びをしています。回を重ねる毎に少しずつボールに慣れ、上達しています。暑い夏は一体みして、また9月から再開する予定です。興味を抱き、好奇心を抱いたものに繰り返しかわり、ルールを守って友達と協力しながら、目標に向かって積極的に取り組んで欲しいなと思っています。



「コーチに向かって、キック!!」



「ボールを使って だるまさんが転んだ」



森の紅精★誕生



中町南小学校（3年生）

なか・やちよの森へGO! (3年生 総合的な学習)

「地域の施設のPRをしよう!」を合い言葉に、3年生の総合的な学習の時間がスタートしました。今日の目的地は、みんなが大好きな「なか・やちよの森」です。五感を使って「なか・やちよの森」の自然を体感するとともに、自分たちが見つけてきた木の実や枝などをくっつけて妖精の姿を創り出そうという活動です。名付けて「森の妖精をつくろう」です。



山を歩いていると、
どんぐりを見つけた。
細長いどんぐりで
した。栗岡さんには
でもお世話になりま
した。

自分の作品がとも
気になりました。

材料をとるのは大変でした。なぜなら、作ることを考えながらとったからです。

ボランディアの人たちに、ボンディをつけてもらったり、にがいちごをとってもらったりしました。にがいちごは、さくらんぼみたいな味がしました。

(吉田穂乃)



自然には知らないものがたくさんありました。たとえばシユロは初めて知りました。自然のものを木につけて、みんなとちがういろんな森の妖精ができました。ばくはシユロを毛にしました。(神吉哲平)

目は竹のちよ
と太い枝で持つて
いるのを使いまし
た。まゆげはくつ
ついでしまいまし
た。

グルーガンから
出てくるのりは、
あつかったです。
でも、やけどはし
ませんでした。
むずかしかった
けど、楽しかった
です。



杉小クラスの日記



杉原谷小学校4年生の日記です。総合学習のお客様は、フルマラソンに何度も出ているといわれていて、驚いたね。一緒に走ってすごさがわかったね。6月のはじめのプールは冷たかったけど、とってもおもしろかったね。家族のうれしいニュースも知らせてくれたね。毎日いろいろなことがあるめ。楽しさが伝わってきます！

すごいおばちゃんであられる
42・195km完走を一度もだめだったことがなかったのがすごいと思いました。とつぜん病気になるって走れなくなつたのは、すごくつらかったと思います。でもまた走れて、すごよかったと思います。すごいおばちゃんと走ってすご楽しかったです。また、いっしょに走りたいです。



あなたが生まれた

弟ができました。名前は、かなたです。身長は50cmで、体重は2604gです。はじめて見たときは、手とか足がしゅわしゅわだったけど、今はちゅとお肉がつきました。生まれた日に、はじめてだっこしました。手を出したところにかんごふさんにやさしくのせてもらいました。ちゅとあたたかかったです。弟ができてうれしいです。

プールでしたよ

またぐり

6月19日にした初めてのプールでまたぐりをしました。最初は、「またぐり、いやだなあー」と思ったけど、してみたらすごく楽しいなと思いました。二人の先生の両方ともしました。最初は小さくなって、またをくぐりました。その次に、わになってくぐりました。その次に、せんすいかんでくぐりました。またぐりをしてるとき、目を開けたらぼやけて見えました。プールが終わって着がえるとき少し目がいたかったんです。今日は小プールだったので早く大プールに入りたいなと思いました。

お日様と土からの贈り物

野菜だあゝいすき

栽培から学ぶ



1年生・2年生が力を合わせ、学校園で栽培してきた夏野菜。キュウリ・ナスビ・トマトにトウモロコシ、そしてスイカが畑いっぱい実りました。



5月から1年生・2年生が生活科の時間に「夏野菜」の栽培・観察を続けてきました。

7月になって、畑には次々に夏野菜が実りました。毎日毎日少しずつ収穫し、みんなで食べたり持ち帰ったり。最後のお楽しみは「サラダパーティー」。ふだんは野菜が苦手な子もこの日はかりは別人。「おかわり、おかわり」の明るい声が部屋いっぱいあふれていました。スーパードライに行けばすぐに手に入る様々な野菜。形もそろってきれい。一方、子どもたちの作る野菜は形も大きさもいろいろ。でも、毎日水をやって育てた、獲れたて野菜の味は格別です。この野菜作りを通して、子ども



私たちは「楽しみにして待つ」というワクワクドキドキした気持ちを実感したことでしょう。また、1日に20センチものびるキュウリのツルに感動し、少しずつふくらむスイカにニコニコ。

まさに命の姿を目の当たりにしたのです。

そして、何より野菜の命を「いただく」ことを学んでくれたと喜んでいきます。



子どもと健康

「早寝早起き朝ごはん」

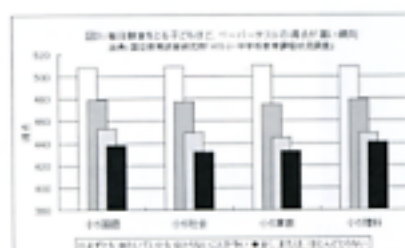
最近「健康三原則」という言葉をよく耳にします。健康を保つためには、「調和の取れた食事」「適切な運動」「十分な休養・睡眠」の三つが欠かせないという意味です。そして、子どもの体力向上や健やかな成長のためには、この三つの原則が徹底されることが大切であることが、平成一四年九月の中教審答申にも書かれています。

この中で、今回は、「食事」と「睡眠」について考えてみたいと思います。

図1は、就学前の幼児における就寝時間の調査結果ですが、約三割もの幼児が十時以降に就寝しています。このことから考えると、小学生ではさらにその割合が増えることが容易に推測できます。また、よく寝る子ほど体力テストの結果がよい傾向にあることを示しています。昔から「寝る子は育つ」と言われますが、それを裏付ける結果となっていますね。

次に食事です。図2は、朝ごはんを食べないことがある小中学生の割合を示しています。この調査では、約二割の小中学生が朝ごはんを食べないことがあると答えて

います。朝食抜きが体によくないことは言われて久しいのですが、それがペーパーテストの成績にも現れているとするデータが、図3です。これを見てどのような感じられるでしょうか？これらのデータは、早寝早起き朝ごはん全国協議会のホームページに出てきます。この「早寝早起き朝ごはん」こそが、家庭でできる子どもの健康づくりのもつとも近道ではないかと思うのです。



加美中学校

毎週月曜日に、生徒朝会を開いています。その中で、生徒たちは自主的に校歌を歌うのです。大きな歌声が、体育館に響き渡ります。教室から、部活動をしている運動

校長として本校に赴任し、5ヶ月が過ぎました。その間、多くの来校者から「あいさつが、素晴らしいですね。」という言葉をいただきました。また、出張先でも「加美中学生は、よくあいさつをするそうですね。」と、話しかけられたこともあります。

校訓 自主・創造・友愛

あいさつと校歌が響く加美中学校の根底には、脈々と受け継がれてきた校訓に込められた、熱い思いが流れているように思います。今後とも、地域の方々と手をたずさえ、地域に根ざした学校づくりに取り組み、このよき加美中学校の伝統を守り、育んでいきたいと思っています。

校訓を誇りに
あいさつと、校歌が響く加美中学校

場からも校歌が聞こえてきます。校歌は、加美中学生の、そして、加美中学校で学ばれた多くの地域の方々応援歌なのです。そんな校歌を、大きな声で歌い継ぐ生徒たちを誇りに思っています。





兵庫県立北はりま特別支援学校

多可郡多可町中區間子602-1 TEL0795-32-3672



平成19年4月1日から「特殊教育」が「特別支援教育」に変わり、学校も「盲・聾・養護学校」から「特別支援学校」になり、本校も「兵庫県立北はりま特別支援学校」と改名し新たに出発をしました。

特別支援教育は、従来の障害だけでなく、知的に遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する学校において実施されます。

これは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

本校の学校行事・学部行事の一部を紹介します。



《体験活動》

小学部は5月に、中学部、高等部は6月に1泊2日のキャンプ体験を行いました。キャンドルサービスでの出し物など楽しい思い出ができました。

《運動会》

今年は9月29日(土)に運動会を行います。小学部、中学部、高等部の児童生徒が、みんなと力を合わせて一緒に楽しく行います。地域の方々との交流の場にもなっています。



《長寿会とのいも苗植え交流》

5月15日(火)、長寿会の皆さんと本校の畑でさつまいもの苗植え交流をしました。長寿会の方に植え方を教えてもらったり、お話をしたり楽しい交流ができました。



《小・中・高等部学習発表会》

11月3日(土)に学習発表会を行います。小学部・中学部はステージ発表をします。高等部は、作業学習発表を行います。児童生徒が作った絵画や作品も展示します。是非お越し下さい。

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed/~kitaharima-yogo>

教育委員会からのお知らせ

多可子どもタイムスでは、町内学校トピックスとして、各校園の学校行事の様子などを掲載してきました。今号からは、町内学校トピックスのさらなる充実を図るために、内容を4つのテーマに細分し、記事を構成しています。

- ①「いま学校では」
(おもに学校行事に関する記事)
- ②「クラス日記」
(クラスや部活動などから日頃の出来事の紹介)
- ③「子どもと健康」
(養護担当の先生の記事)
- ④「校長先生・教頭先生から見た子ども」
(校長先生・教頭先生の記事)



これまでとはひと味もふた味も
違った内容で、各校園のいろ
んな情報を発信して参りますの
で、ご期待下さい。

学校給食費の未払いが社会問題になっていますが、多可町の幼稚園・小学校・中学校の児童・生徒の18年度の給食費を完納いただきました。食べたらずうのは当然のことですが、その当然のことが守られないのが最近の憂慮される一つです。

そんな中、多可町は未納者ゼロを達成しました。うれしいことですので、紙面を割いて報告いたします。ありがとうございました。